

“くろいの”って面白い!

保育者による「子どもを『観る』」は、寄り添ったり見守ったりして、「支える」援助につながります。ここで紹介する実践は、子どもたちがコトやモノと出会い、関わる中で“試す”“繰り返す”“確かめる”などのプロセスを通し、保育者や友達と心を通わせながら確信へと向かう心の動きを「科学する心」と捉え、子どもの心に寄り添いながらじっくりと“待つ保育”を進めています。子どもたちがコトやモノと出会い、「面白い!」と感じて繰り返し関わる姿を見逃さず、「支える」保育者の援助を読み取ることができます。

社会福祉法人堺暁福祉会 幼保連携型認定こども園 かなおか保育園 2歳児

<きっかけ> 園庭に出ると、Aさんは地面に映る“くろいの”に気づく。興味をもち、歩いたり走ったりして試しながら遊んでいる。保育者が手で作った形に日差しが当たり、黒くなって地面に映し出される様子をBさんがじっと見る。次第に、保育者の手と“くろいの”が同じ動きをしていることに気づく。Bさんは、自分の手を動かして“くろいの”が同じ動きをするのか試す。地面に映る“くろいの”が何なのか不思議に思い、何度も繰り返し試している。

思い= 言葉= 分析=

Aさん 安心や自信の気づき 試し確かめ積み重ねる気づき	保育者 関わり=★ 思い=♡
<p>場面1. “くろいの”あった! <4月中旬></p>  <p>これなんだろう</p> <p>“くろいの” ある</p>  <p>“くろいの” ついてくる!</p> <p>試す</p>  <p>繰り返す</p> <p>確かめる</p> <p>何度も歩いたり、走ったりして“くろいの”が自分についてくることに気づく。</p> <p>その後も何度も確かめる。</p>	<p>★「何を見てるの?」と、言葉をかける。</p> <p>★「本当だね。“くろいの” あるね」と、受け止める。</p> <p>♡影に気づいたんだ!面白い!</p> <p>♡影について何か気づいてくれるかな?</p> <p>★興味をもって繰り返し試しているので、Aさんの言葉を受け止めて共感し、そのまま見守る。</p> <p>♡歩いたり走ったりすることで、影が自分についてくることに気づいた!</p>
<p>5月上旬</p>  <p>また?</p> <p>“くろいの” あった!</p> <p>あれ?</p>  <p>“くろいの” 無くなった!</p> <p>繰り返す</p>  <p>“くろいの” 出てきた!</p> <p>「あっち(園庭にできている影) “くろいの” 無い」</p> <p>確かめる</p> <p>確信</p> <p>晴れたので久しぶりに園庭で遊ぶ。 Aさんが再び“くろいの”に気づき、“くろいの”を追いかけて走っている。保育者と一緒に走る。</p> <p>突然自分の“くろいの”が無くなったことに気づく。</p> <p>保育者と影踏みをして遊んでいるうちに日陰に入り、Aさんの“くろいの”が消える。</p> <p>地面の真ん中に、一本の線があることに気づく。</p> <p>“くろいの”が現れたり消えたりすることを不思議に思い、体を左右に大きく揺らしている。</p>	<p>♡影のこと覚えていたんだ!</p> <p>★Aさんと一緒に影を追いかける。</p> <p>「本当だね。また“くろいの”あったね!」</p> <p>♡影について何か新たな発見ができればな…。</p> <p>★「本当だね。無くなったね。“くろいの”どこにいったのかな?」と尋ねる。Aさんの影が無くなったという気づきに共感する。日陰ができていることを言わずに、そっとAさんの様子を見守る。</p> <p>♡園庭の半分が日陰になっていることに気づくかな…?</p> <p>★「本当だね! こっちには“くろいの”あるけど、あっちに行くと“くろいの”無いね!」と、Aさんの発見や驚きの気持ちを受け止め、一緒に日向と日陰を行き来し確認する。</p> <p>★「よく気づいたね、本当だ。一緒に動きしているね」と、Aさんを認める。</p>

場面 2. 先生と“くろいの” いっしょ！

< 5月中旬 >



初めは、**保育者の手に注目**していた。
“くろいの”も**保育者と同じ動き**をしていることに**Bさんが気づく**。

試す

「先生と “くろいの” 一緒」



手と同じ動きしている

繰り返す

手をグーやパーにして、“くろいの”が**同じ動き**をしていることに**気づき**、**何度も試している**。



自分の影を通して、**園庭に映る保育者の影絵**を叩いたり、指でツツンしたりしていた。

確かめる

★保育者が手を使って地面に影を映し出す。

♡保育者と影が一緒の動きをしていることに気づいた！

♡手を動かして影が同じ動きをするのか試している。

♡自分と影が一緒だということに気づかな…？

★Bさんと同じ言葉を返して共感し、自分の手を何度も動かして試している姿が見られたので気づくのを待つ。

♡自分と影が一緒だということに気づいたんだ！

場面 3. こうやってしたら、出てくるねん！

< 6月下旬 >



確かめる

“くろいの”は自分の影？

ここは自分の影が映ってる…



“くろいの”の**正体が自分の影だと分かる**と、**踏まれないように日陰を探す**。

「(影) 無いでー！」

♡保育者が影を踏めないように、影が現れない所を探している。
面白い！

★「本当だね。影が無くなったね！」と、Aさんの影が現れないという気づきに共感し、一緒に影が現れないことを確認する。

場面 4. 「見てて！」

< 7月中旬 >

「見てて！ここにオオカミさん出てくるねん！」



「こうやってしたら(影が)出てくるねん」

「先生見て！オオカミさん！」



「こう？」

「オニさん！」



確かめる

確信

手でオオカミやオニなどの形を作り、**影が一緒の動き**をしていることを確認する。
また、**友達にも知らせる**。

★Bさんが園庭で影絵をして遊んでいたの、側でBさんの様子を見守る。

♡自分と影が一緒の動きをすることを覚えていたんだ！

★「本当だ！オオカミさん、下にも出てきたね！」と、受け止める。

★友達が興味をもってBさんの様子を見ている。Bさんが友達に影が現れることを知らせているので、気づきに共感したり、一緒に影絵をしたりする。

【考察】 地面に映る“くろいの”に気づき、「何でついてくるのだろうか？」と、興味や疑問をもって遊ぶ姿を捉えた。「こうしたらどうなるかな？」と、感じたり気づいたりしたことを試したり、繰り返したりして確かめていた。また、黒い正体を探したり面白がったりすることで、新たな気づきにつながり、自分が気づいたことを保育者や友達に知らせるA児の姿が刺激になり、B児や他の子どもへと広がった。子どもの気づいたことや言葉を保育者がそのまま受け止めて返すことで、子どもたちは安心して繰り返すことができ、確かめることや発見につながっている。保育者はすぐにヒントを出さずに見守り、子どもの気づきに寄り添ったり言葉に共感したりして、自ら発見する体験や不思議さを追求する豊かな体験を繰り返し楽しめるように援助をしている。今後も、影に興味をもった動きを、影踏みや影絵などの遊びの面白さに広げ、子どもたち同士の影遊びが深まるよう環境を工夫していきたい。